

# 胃透視(バリウム)検査をお受けになる方へ

胃透視(バリウム)検査とは...

空気とバリウムを胃の中に入れ、検査台の上で体を動かすことにより胃の粘膜にバリウムを付着させ、粘膜の異常を見つける検査です。

検査時間は10～15分程度です。

## 【検査を受ける前にご質問です】

下記の項目で、現在治療中もしくは過去に治療歴があったり診断されたものがありますか？  
当てはまるものがある場合は、該当する項目に○印をつけて受付時にお渡しいただくか、  
検査前に必ずお申し出下さい。また、分からないことがございましたら遠慮無くお尋ね下さい。

- ・ 緑内障 ・ 前立腺肥大症 ・ 心臓病 ・ 糖尿病 ・ 妊娠の可能性がある
- ・ バリウム製剤による過敏症(アレルギー症状) ・ 該当無し

## 検査当日の流れ

紹介状・健康保険証・当院診察券(お持ちの方)を持参のうえ、  
検査予約時間の15分前までに、  
日本鋼管病院 外来棟1階 地域連携室 にお越しください。

注) 緊急の搬送等があった場合など、検査が予約時間よりも多少遅れる場合がございます。  
恐れ入りますが、予めご了承願います。

## 検査にあたって

- ◇ 検査前日の夕食は、午後9時頃までに済ませて下さい(飲水は可)。
- ◇ 当日は、検査終了まで一切の飲食・飲水をなさらないで下さい。  
また、たん・つばは出来れば飲み込まないでティッシュなどに吐き出して下さい。
- ◇ お薬は医師の指示がない限り服用しないで下さい。  
(心臓病・高血圧の薬を服用されている方は起床後、7時頃までにお飲み下さい。)
- ◇ 胃の動きを抑える為に注射をする場合があります。薬の影響で約2時間程度、目のかすみや頭痛が起こる事がありますので、車・オートバイ・自転車での来院はご遠慮下さい。

～ 検査当日 ～

- ◇ 検査着に着替えていただきます。
- ◇ 胃の運動を抑えるための注射をします。
- ◇ 検査時間は10分前後ですが、開始及び終了は予定の時刻よりも多少前後する場合があります。
- ◇ 検査結果は後日、ご紹介いただいた病院の担当医師からお聞き下さい。

## 検査後の注意 ～よくお読み下さい～

- ◇ バリウムの排出を促すために下剤を飲んでいただきます。  
検査直後よりコップ2～3杯の水を飲んでバリウムがお腹で固まらない様に、一日を通して十分に水分を補給して下さい。
- ◇ 便秘・便秘気味の方は下剤を追加しますので、検査担当者または看護師にお申し出下さい。
- ◇ 検査翌日以降になってもバリウム便が排泄されない場合には、必ず当院(下記:救急外来)にご連絡下さい。
- ◇ 検査時に使用する注射の影響が出る場合があります。  
場合により「目がチラチラする」・「物が二重に見える」・「のどが渇く」・「フラフラする」といった症状が出る場合がありますが、じき治まります。  
しかし、上記の症状が完全に治まるまで車等乗り物の運転はしないで下さい。  
また、歩行にも十分注意して下さい。  
車・オートバイ・自転車等での来院は極力お控え下さい。
- ◇ 検査後はお腹が張った状態になります。食事は1～2時間後(お腹が楽になってから)ゆっくり時間をかけてお摂り下さい。
- ◇ 検査後に下記の症状が出現したら、必ず当院(下記 救急外来)にご連絡下さい。
  - 腹痛 ● じんましん ● 気分不快 ● 顔面蒼白
  - 手足が冷たくなる ● のどが詰まる ● 息苦しい・息がしにくい
- ◇ 都合により遅れる場合・ご来院できなくなった場合や、ご不明の点は下記までご連絡願います。  
ご連絡が無い場合、検査開始時間が遅れることがございます。あらかじめご了承下さい。

～ 検査に間に合わない場合や、その他のお問い合わせのご連絡は ～

**地域連携室** フリーダイヤル **0120-961-778** (平日 9:00～17:00・土曜 9:00～14:00)

携帯電話からは TEL 044-366-1077

**救急外来** TEL **044-333-5591** (その他の時間帯)